

2014年度

事業報告書

自 2014年 1月 1日

至 2014年12月31日

一般社団法人日本ゴルフツアー機構

2014年度 事業報告書

自 2014年 1月 1日

至 2014年12月31日

事業内容

1. トーナメント事業

本年度、国内、海外トーナメントは以下のように実施した。

(1) トーナメント事業の展開

- ① ツアートーナメント24試合の管理及び運営
国内23試合（JGA主催2試合、PGA主催1試合）、海外共催1試合（インドネシアPGAチャンピオンシップ）
- ② チャレンジトーナメント16試合の管理及び運営（試合数前年比1増）
- ③ 新規ツアー及びチャレンジトーナメントの開拓

(2) トーナメント関連事業

- ① シーズンオフと夏にオリンピックを目指した強化合宿の実施
フェニックス・シーガイア・リゾート内
第1回目 1月27日（月）から1月31日（金）
第2回目 2月 3日（月）から2月 7日（金）
第3回目 2月17日（月）から2月21日（金）
夏合宿
関東 7月16日（水）ザ・カントリークラブ・ジャパン
関西 8月 6日（水）JFE瀬戸内海ゴルフ倶楽部
- ② ツアーメンバーにルール、マナー、エチケット及びファンサービス等の啓発活動
トーナメント会場での選手・キャディへの服装チェックの実施
ツアートーナメント 8試合
チャレンジトーナメント 3試合
- ③ ジャパンゴルフツアートーナメント規程の改定
- ④ アンチ・ドーピング普及啓発活動とドーピング検査
- ⑤ 年間表彰式の開催 12月8日（月）パレスホテル東京

(3) 海外事業の展開

- ① フェデレーション会議及びオフィシャルワールドゴルフランキング

会議への出席

- ② 4大メジャー、WGC等国際大会への選手及びオフィシャルの派遣
- ③ 海外ツアー及び管理団体との連携、情報共有
- ④ 海外ツアーとの共催トーナメントの企画及び運営
- ⑤ 海外トーナメントに出場するツアーメンバーのサポート
- ⑥ 2016年、2020年オリンピックに向けての準備

2. ジュニア育成事業

本年度、ジュニア育成事業は以下のように実施した。

- ① スナッグゴルフによる小学校へのゴルフ普及活動
- ② スナッグゴルフ地区予選及び全国大会の開催
- ③ ジュニアゴルフ大会への支援活動

3. スコアリング事業

本年度、スコアリング事業は以下のように実施した。

- ① トーナメント会場に公式記録員を派遣し、公式記録を作成
- ② ホームページ・モバイルサイトで、一般閲覧者にスコア速報等の迅速かつ正確な情報発信と選手データ等の豊富な情報の提供

4. 広報事業

本年度、広報事業は以下のように実施した。

- ① ライブ放送、BS、CS、インターネット放送の推進
- ② ジャパンゴルフツアーオフィシャルガイドブックの発行
- ③ ツアーニュースの発行（月1回）
- ④ 提携コースの活用と新規開拓
- ⑤ 肖像権、パブリシティ権等の知的財産権の保護、管理及び運用

5. 貢献・チャリティ・環境事業

本年度、貢献・チャリティ事業、環境事業は以下のように実施した。

- (1) 貢献・チャリティ事業 — プロスポーツ団体としての社会的責任
 - ① 東日本大震災の復興支援活動の継続
 - ② 高松宮妃癌研究基金への寄贈
 - ③ 日立3ツアーズチャンピオンシップの企画運営（PGA、LPGAと共催）及びチャイルドチャリティ
 - ④ ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメントの後援
 - ⑤ 選手と一緒に児童養護施設などへの慰問

(2) 環境事業 ― 環境問題への取り組み

- ① 長野県飯田市野底山財産区「ゴルフの森」の森林整備活動

6. クォリファイメントーナメント事業

本年度、次年度の試合出場資格及びランキングの決定は以下のように実施した。

- ① ファーストクォリファイメントーナメント (2会場 231名参加)
- ② セカンドクォリファイメントーナメント (11会場 1137名参加)
- ③ サードクォリファイメントーナメント (6会場 599名参加)
- ④ ファイナルクォリファイメントーナメント (1会場 196名参加)

7. 管理部門

本年度、管理部門は以下のように実施した。

- ① 組織の改変及び効率的な業務の運営
- ② JGTコンピュータシステムの更新
- ③ 職員の新規雇用
- ④ 17団体の連携によるゴルフサミットの推進
- ⑤ 日本プロゴルフ殿堂の表彰と運営
- ⑥ 反社会的勢力対策の普及啓発活動

以上